

【別添2】

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛騨高山高等学校
(通信制課程)

学校番号 5813

I 自己評価

1 学校教育目標	1 「快活」「友愛」「創造」を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と「生きる力」を備えた生徒の育成を目指す。 2 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、社会人としての一般教養を身につけさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。	
2 評価する領域・分野	◇生徒指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	年4回のアンケートを実施（記名式2回、無記名式2回）した。、いじめがあったとの回答であり、すぐに対応し、解消している。また、アンケートから判明した迷惑行為等について、早速、担任から口頭で注意喚起するとともに、広報紙でその結果や分析、対応について報告した。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇一人一人が自己有用感を味わえるようにします。 ◇自己を大切にし、自己指導能力をつけ、他人を思いやり、仲間と協力することで共生力を身につけることをめざします。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・校長 ⇒ 副校長 ⇒ 教頭 ⇒ 職員会議 生徒指導主事・教育相談・HR担任	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 新入生や転編入生に対する適応指導の充実 (2) 講話や交通指導を通じ、生命の尊重・安全の指導・情報モラル指導をする (3) 保護者懇談会や迷惑調査、職員研修を通じた、教育相談活動の充実 (4) 部活動や学校行事を通して、学校生活をより活発化させる。 (5) 家庭との連携を密にして、一人一人の状況に応じた学校生活ができるようにする。	(1) 生徒及び保護者アンケート。 (2) 全職員が全生徒の情報を共有して、情報交換ができる。 (3) 安心・安全な学校生活ができている。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・中学校訪問をして相互理解を図った。 ・学校適応指導に力を入れた。 ・安心安全な学校生活を送る場の提供に努めた。 ・定期の情報交換会以外に、日常的に生徒の様子について交流をした。担任以外の職員も積極的に関わり人間関係の構築を図った。 ・行事は生徒会を中心に推進し、生徒が主役となる活動の充実を図った。 ・情報モラル教室を実施した。 ・薬物乱用防止教室を実施した。	①一人一人を深く理解し、個に応じた適応指導ができたか。また多面的な支援ができたか。 ②個々の生徒が安心、安全な学校生活をおくれたか。 ③学校行事は仲間と触れあい、貴重な体験の場となったか。	(A) B C D A (B) C D A (B) C D
11 成果課題	○中学校への訪問では、相互理解を深め、通信制教育の内容を説明した。 ○職員研修会を実施し、生徒理解の対応について学んだ。また、命を守る訓練を3回実施した ○状況に応じて関係機関等との連携を図り、スクールカウンセラー、子ども相談センター、他校と情報共有し、保護者や生徒の安心、安全確保に努めた。 ▲多様な生徒の入学に伴い、多様な対応が求められるため、職員間の情報交換を一層密にしたが、さらに共通理解を深めることが必要である。	
12	来年度に向けての改善方策案 ・生徒がさらに安心、安全な学校生活が送れるように、多様な生徒に対して個に応じた適切な対応に努める。 ・生徒のソーシャルスキル能力を高めるため、教職員の連携をさらに深める。	

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年1月26日

【意見・要望・評価等】

・学校での指導や連絡事項が保護者に十分伝わっていない状況があるため、ホームページへの掲載、通信文書、メール配信などを通して周知徹底を図っていく必要がある。
 ・不登傾向のある生徒や、発達障がいのある生徒に対する丁寧な指導のおかげで、生徒たちは落ち着いた学校生活を送ることができている。

